

いま、新年号のことを書いておるとき、幼稚園のスピーカーから運動会の音楽に合わせて、先生が整列させる声や手拍子が鳴りひびいている。小さな子どもたちが、赤や黄の帽子をかぶり、列を作つて歩く。このときには、先生はいつもの先生ではなく、遊戯のお手本であり子どもの注意をひくとつにむけさせるリーダーである。皆で遊戯をし、かけっこをし、順序よく並んで入退場し、それ以外の生活は認められないかのようにある。帰るときには大声を出して元気な子どもをみると、これでよさそうに思う人も多いだろう。しかし、幼稚園から家に帰つたとき、たくさんの子どもが、ふだんよりぐったりして、怒りっぽく、いらだちており、夜もねつきが悪かつたりする。どうして、幼稚園のときから、こんな運動会をしなければいけないのだろうか。大きくなった子どもたちは、運動会の練習のとき、いかに納得いかずに怒られたか、

その思い出もこもこも語る。そのときにまともなことを考へなくさせるのが運動会のことである。幼稚園百年の歴史の中で、運動会はいつはじまり、どのように推移してきたのだろうか。百年たつて、良い方に向つているようにも思われない。

近所の高等学校では、太鼓の音、応援のかけ声勇ましく、別の運動会をしている。チームの統制がとれて、リーダーが張り切るほど、それに乘れなくて傷つく者も多い。運動会を立派にやりとげようとするほど、子どもの生活は失われてゆくように思われる。

本年は、明治九年に東京女子師範学校に付属幼稚園が創設されて百年を迎える。本誌も、明治三十四年に創刊されて、七十五巻を迎える。子どもが喜んで生活している幼稚園が一つでも増えることを祈る。

(津守 真)

幼児の教育 第七十五巻第一号

一月号 © 定価二〇〇円

昭和五十年十二月二十五日印刷

昭和五十一年一月一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします